

新技術の活用【月間ランキングトップ10】

平成20年4月の新技術活用ランキング

順位	前月 順位	技 術 名	NETIS番号	活用 件数	技 術 の 概 要
1	2	手摺先行型足場	KT-010074-V	46	常時手摺が設置されている状態で足場の設置・撤去作業を行うことにより転落事故を防止する枠組足場
2	3	簡易式体感マット	TH-040016-V	14	リング状の集合体をジョイントで結合することで、従来の体感マットのように路面への固定を行わずともめくれ上がらない、もらい事故防止用体感マット
3	NEW	ハット形鋼矢板900	KT-050017-V	11	断面形状をハット形とすることで鋼重あたりの断面性能を向上させ投影面積当たりの材料費の縮減を図り、有効幅の拡大(400mmから900mm)による使用枚数の低減から工期の短縮及び施工費の低減を図る矢板工
3	NEW	ピカコン(気泡抜き取り具及びフレッシュコンクリート表面仕上げ方法)	SK-040007-V	11	コンクリート表面の気泡痕を手作業のみで大幅に減少させることができる先端部が櫛状のフレッシュコンクリート表面仕上げ用器具
3	NEW	凍結防止剤散布車の自動化技術の開発	HR-990022-V	11	横風等による飛散ロスの低減、維持管理費用の軽減を図った効率的な凍結防止剤散布車
6	NEW	Qマット	KT-980368-V	10	コンクリート構造物の湿潤・保温養生材
7	NEW	スーパーテールアルメ	QS-060012-V	9	補強部材の低減および壁面部材の大型化により施工効率を向上したテールアルメ工法
7	NEW	ディスパライト	KK-990050-V	9	コンクリートの打継目処理において、レイトランス処理としてコンクリート硬化前に行っていた作業を、コンクリート表面の水和反応を遅らせることで、硬化処理作業時期を延長できるコンクリート打継目処理剤
9	8	枠組み足場用安全装置	TH-020019-V	8	従来の枠組足場に後付けすることで、転落事故を防止する手摺先行型足場としての使用が可能となる装備品
10	19	残存型枠工法「残存型枠プロテックピラスワンダー」	CB-980008-V	7	コンクリート製パネルを用いることでコンクリート打設後の取り外しを不要とする型枠
10	33	発酵下水汚泥コンポスト	TH-980011-V	7	下水汚泥を通性嫌気発酵によりコンポスト化した上で顆粒状に整形し、植栽基盤土壌改良材として利用する技術

注) 毎月の活用件数は活用計画書の提出数でカウントしているため、実際の工事における活用時期と活用報告書への報告時期が異なっている。
(活用計画書提出後、新技術の活用が取りやめになった場合は翌月の報告に反映)

(平成20年4月期)